

令和3年度第1回豊田市環境審議会 会議録

【日 時】 令和3年8月3日(火) 午前10時15分～正午

【場 所】 豊田市役所 南庁舎 南52会議室

【出席者】

(委 員)	千頭 聡	(日本福祉大学 国際福祉開発学部 教授)	《会 長》
	渡部 教行	(豊田市自然愛護協会 会長)	《副会長》
	梅村 豊作	(市民公募)	
	梅村 良	(とよたエコライフ倶楽部 運営委員)	
	大熊 千晶	(日本野鳥の会 レンジャー)	
	加藤 智和	(市民公募)	
	加藤 勝	(豊田市区長会 理事)	
	近藤 琢也	(豊田商工会議所第2工業部会 副部会長)	
	近藤 恭弘	(豊田商工会議所第1工業部会 部会長)	
	匂坂 照二	(気象庁名古屋地方気象台 次長)	
	篠田 陽作	(名古屋経営短期大学 子ども学科 講師)	
	杉山 佐由紀	(NPO 法人とよたエコ人プロジェクト)	
	谷口 功	(椋山女学園大学 人間関係学部 教授)	
	寺田 安孝	(あいち豊田農業協同組合 常務理事)	
	永江 榮司	(市民公募)	
	前田 洋枝	(南山大学 総合政策学部総合政策学科 准教授)	
	増田 理子	(名古屋工業大学 社会工学専攻 教授)	
	山内 徹	(市民公募)	

(計18人)

(事務局) 清水環境部長、小澤環境部副部長、塩谷環境政策課長、松井環境保全課長、近藤廃棄物対策課長、長嶋清掃業務課長、浦野清掃施設課長、青木ごみ減量推進課副課長 ほか

【欠席者】 島田 知彦 (愛知教育大学 教育学部理科教育講座 准教授)
杉山 範子 (名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授)

【傍聴人】 なし

【次 第】

- 1 開会
- 2 環境部長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 委員紹介
- 5 諮問
- 6 議題
 - (1) 各専門部会における施策進捗評価に対する審議結果(報告)
 - (2) 「安全・安心社会」の進捗評価及び中間見直しについて(協議)
 - (3) 「市民の環境行動力の向上と共働の分野」の進捗評価及び中間見直しについて(協議)

【議 事】

- 1 開会
- 2 環境部長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 委員紹介
- 5 諮問

(1) 豊田市環境審議会への諮問について（一般廃棄物処理手数料の算定のあり方について）

会長	<p>本日は、新型コロナウイルス感染対策として、会場の密を避けるため、会場での参加者の他にオンラインでも参加しており、半数以上の委員が出席しているので、本会議として成立している。</p> <p>本審議会は、「一般廃棄物処理手数料の算定のあり方」と、「豊田市環境基本計画の中間見直し」について審議を行う。</p> <p>最初に、先程諮問を受けた「一般廃棄物処理手数料の算定のあり方」について、事務局よりその経緯や目的について、説明をお願いします。</p>
事務局	（報告資料に基づき、目的や経緯を説明。）
会長	この件については今後、循環型部会で議論を行ってもらうが、所属部会にこだわらず、意見等を発言いただきたい。
委員	市側で手数料をいくらにするという案はあるのか、それとも部会に一任しているのか。
事務局	市としての考えはあるが、まずは部会で検討してもらいたいと考えている。将来的なことを考えると、ごみの量を減らしていけば焼却施設も小さくなり、将来の豊田市民の負担も減らしていけると考えている。
委員	剪定した刈草が、緑のリサイクルセンターではたい肥化しきれずに焼却処分になっているとのことだが、処理費用をいくらに設定すると採算のとれる処理ができるようになるのか。
事務局	民間事業者の処理費用も考慮した上で採算の取れる費用を設定していく必要がある。これまで民間事業者と意見交換をした中では、処理費用は 180 円くらいになると聞いている。
委員	ごみの問題は、処理の段階の議論も大事だが、発生源対策も大事である。ごみの総量を減らしていく一方で、ごみを出している人が金額を負担する、製品を作って売っている企業にも処理費用の一部を負担してもらうなどを検討すべきである。
会長	本件については、循環型部会で議論を進めるが、最後に谷口部会長からも意見をいただきたい。
委員	手数料の問題は受益者負担の問題であるが、きちんと市民に納得していただける内容となるよう議論していきたい。

6 議題

(1) 各専門部会における施策進捗評価に対する審議結果（報告）

会長	各部会での議論について報告していただきたい。
事務局	<p>（資料 1 に沿って脱炭素社会における協議結果を説明。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会長が欠席のため、事務局から報告する。 ・今年度から部会名称を「脱炭素部会」に変更した。 ・小さいサイクルの振り返りについては、15の施策のうち、11施策を「順調」、3施策を「遅れ」、1施策を集計不可と評価した。 ・大きいサイクルの評価については、市民満足度の低下について一般市民に届くような情報発信が必要という意見が委員から出た。 ・中間見直しについては、前年度評価を踏まえつつゼロカーボンを目指してい

	く内容を議論していく。
委員	<p>(資料2に沿って自然共生社会における協議結果を説明。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境分野は長期的な視点でとらえる分野であり、掲載する事業は個別計画に基づいて実施されていることから、基本的には前期計画を継続していく。 ・前年度の振り返りについては、13の施策のうち9施策を「順調」、2施策を「遅れ」、1施策を「評価困難」と評価した。 ・「遅れ」と判断した施策は、市街地の緑化創出と水循環の推進である。「評価困難」と判断した施策は、「体験型自然観察会の充実」である。 ・コロナ禍で子どもたちに対して自然環境教育が行われていないということについて、対策案などが委員から意見が出された。
委員	<p>(資料3に沿って循環型社会における協議結果を説明。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11の施策のうち、9施策を「順調」、2施策を「遅れ」と評価した。「遅れ」と判断した施策名は、「家庭系廃棄物の減量」と「事業系一般廃棄物の減量」である。 ・中間見直しについては、主に3つの視点で見直す予定である。1つ目は市民一人当たりのごみ排出量を減らすために、食品ロス削減の取組を強化し、市民や事業者からの可燃ごみを減らしていくこと。2つ目はごみの分別に対する意識が変わらないことについて、市民や事業者のごみの出し方に対し再認識を図るとともに、分別への取組意識が高まるような仕組みづくりを創出すること。3つ目は、社会情勢によって変化のごみの排出量については、排出状況をその都度確認し、状況によってまちの状態指標の捉え方を検討すること。
会長	所属部会以外の協議結果について、意見等をご発言いただきたい。
委員	脱炭素社会について、例えば電気自動車はガソリンを使わないから環境によいと思うかもしれないが、電気自動車を作るために多くの二酸化炭素が発生している。脱炭素社会の実現は、点で捉えると永久に達成できないので、社会全体でとらえる必要がある。

(2) 第4節「安全・安心社会」の進捗評価及び中間見直しについて（協議）

会長	「安全・安心社会」の進捗評価及び中間見直しについて、事務局からの説明をお願いします。
事務局	<p>(資料4に基づき、説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さいサイクルとして全11施策、全て「順調」と評価した。 ・大きいサイクルとして、まちの状態指標においても目指すべきまちの状態に向かっており「順調」と評価した。 ・第4節については現行計画の進捗が順調であり、市民の満足度も高いため、引き続き現行計画を推進していく。大きな変更は必要ないと考えている。
会長	質問や意見をご発言いただきたい。 今回のまちの状態指標アンケートは、質問項目は全く同じであるか。
事務局	「周辺への満足度」は全く同じだが、「気候変動への認知度」は、影響が少ないと思われる範囲内で回答項目を少し変更した。
会長	アンケートは少しでも聞き方を変えると、回答結果が変わることもあるので、注意が必要。
委員	「4-2 良好な生活環境の形成」において、コミュニティと連携しながら実施しているとのことだが、どのような活動があるのか。
事務局	ごみ屋敷の問題は、5年前に条例を作ってから地域の人と一緒に取り組んでいる。
会長	かつての審議会でも、出席委員から福祉的な視点を入れてごみ屋敷問題に取り組んでほしいとの意見があった。豊田市は、代執行を行う可能性が高い事例があったが、当事者との間に一定の関係が構築でき、ごみが定期的に排出され代執

	行を回避できたという事例もある。
委員	ごみの持ち去りについて、条例を改正したが、成果があれば教えてほしい。
事務局	条例改正直後には、ごみを持ち去った業者に対し警告等を行ったので一定の効果はあったと考えている。ただし、現在では金属の価格が下落しているため、ごみの持ち去り行為はほとんどない。
委員	熱海での起きた土砂災害の問題が、産業廃棄物処理の問題も絡んでいたようであるが、豊田市では産業廃棄物の問題と自然災害の問題をどのように考えて対策しているか。
事務局	市内でも熱海で起きた土砂災害事件のことについては注視し、土木部局や開発部局と連携し、情報共有している。 廃棄物対策課が把握している産業廃棄物が不適正処理されている場所では、山間部に行くと土砂災害の影響を受けるエリア内のところもあるが、廃棄物などを含む土砂で造成されたところに産業廃棄物が置かれている地点は確認されていないことから、現状として廃棄物を含んだ土砂が流れ出すというところはないと考えている。 今後は全国の動向を把握しながら、土木部局とも連携をしながら、安全を確保していきたい。
会長	中間保管における過剰保管の事象もないか。
事務局	保管量の調査も定期的に行っているが問題ないと判断している。
委員	他縣市では、太陽光パネルが勝手に設置されていることが大きな問題になっている。豊田市ではどうか。
事務局	メガソーラーの乱開発については、市内でも問題視している。 不適正な設置についてどのように対応できるかを検討している。 一方で、温対法の改正によって促進区域の設定に関する規定が盛り込まれるなど、再生可能エネルギーの普及を進める動きがここに来て一段と加速している。再生可能エネルギーの促進と、規制をどのようにバランスがとれるかを検討している。
会長	瀬戸市は条例を作って、一定の規制をすることにした。現状のリスクも考慮すべきだが、FIT 終了後を見据えて考えてほしい。
委員	ソーラーパネルは、隣接している市町村との開発状況も共有していった方がよい。
委員	気候変動への適応について、行動計画のスケジュールを教えてほしい。
事務局	今回の環境基本計画及び地球温暖化防止行動計画の中間見直しの中で、地域気候変動適応計画に相当する内容を位置付けていく予定である。内容については、現時点では環境基本計画内に「気候変動への適応に関する認知度」を指標として掲載しているが、認知度だけではなく「行動する」という視点も追加していくことを検討している。 また、啓発についても WEB 等を活用し、力を入れていく予定である。

(3) 「市民の環境行動力の向上と共働の分野」の進捗評価及び中間見直しについて（協議）

会長	「市民の環境行動力の向上と共働の分野」の進捗評価及び中間見直しについて、事務局からの説明をお願いする。
事務局	(引き続き、資料4に基づき、説明) ・小さいサイクルについて全10施策のうち、8施策を「順調」、1施策を「遅れ」、1施策を「集計不可」と評価した。 ・大きいサイクルとして、5つの「まちの状態指標」のうち、2指標は目指す方向に向かっており、3指標は目指す方向性に向かっていないと評価した。 ・中間見直しの方向性としては、市民や事業者が主体的に行動できる取組の創

	出や情報発信・見せる化を行ったり、新しい暮らし方、働き方の視点を考慮する必要があると考えている。
委員	例えば脱炭素の取組において、1人ひとりの行動に対して、具体的にCO ₂ がどれだけ排出されているのかを見せる化していくことで、脱炭素を考えるきっかけになる。SDGsについても、取組の情報発信だけではなく、一人ひとりの行動がSDGsの目標達成につながっていることを、市民らに強く訴えかけていくことが必要である。
委員	市役所ではゼロゼロ大作戦として、ペーパーレスに取り組んでいると思うが、自分が働いている職場でもペーパーレス化に取り組んでいるので情報提供する。紙印刷をする際には上司の決裁が必要というルールを設けたところ、大幅に紙の削減ができた。紙を使うことのハードルが上がると、印刷しないためにはどうすればよいかと様々な案が出る。このような行動の積み重ねが目標達成につながっていくと思う。
委員	環境美化活動において、世代間の考え方が全く違う。アンケートの分析データを出しているが、年代別集計など詳細分析をするとより対策が見えてくるのではないか。
委員	コロナ禍で環境学習への需要が大きくなったと感じている。 このコロナ禍が過ぎても環境学習への関心をつなげる取組が必要である。
委員	コロナ禍で、観察会の定員が半分になっている。応募の需要が増えているのは、遠出が出来ないことも要因の一つだと思っている。自前の観察会の数などは増やせないが、図書館や他施設との連携、学校等と出前授業で対応している。一般市民の方の需要への対応は、今後検討が必要である。
委員	データ分析において、単なる年齢ごとの区切りの集計・分析だけではなく、マーケティングなどで使われるX世代、Y世代、Z世代という観点も分析するとよい。 原因分析は仮説を用いて説明をしていたが、本当にそうだったのかという仮説の検証も必要である。
会長	市の事務事業の電気使用量の増加の理由として、小中学校へのエアコンの設置も一因として挙げていたが、豊田市のエアコンはガスではなく電気なのか。
事務局	両方である。
会長	5節にだけSDGsが出てくることに、物足りなさを感じる。SDGsは豊田市の目指す姿からのバックキャストであるということと、17のゴールの関係性が大事だと感じている。5年前よりもSDGsを主軸において見直すという観点からは、冒頭のところの見直しも必要だと考えている。

6 その他

7 閉会